

裁きで「偽物」

神戸地裁 30万円払え
電野支部

3年前 預けた犬、戻れば「駄犬」

真ん
論争

「警察犬訓練所に預けた血と慰謝料三十万円の支払いをという名前の生後九カ月のシ
統書付きのドイツ・シェパード犬が、偽物にすり替えられ「裁判に勝ってもロッキーはた。ロッキーは訓練中に出場
たとして兵庫県豊岡市森、どこにいるのかわからない。した警察犬の競技会で二種目
左官業、山川英幸さん(四七)が三年余り飼っている偽物にもとも三位に入る好成绩をあげ
同県姫路市林田町上伊勢、甲愛情がわくし……」と戸惑いた。同五月末、竹本所長から

飼い主、愛情わき戸惑い

子園警察犬訓練所の竹本順一の表情。一方、竹本所長は「本返されたが、「レオ」と呼ぶ
所長(四七)を相手に、本物の犬物に間違いない」と大阪高裁よう告げられたうえ、おとな
の返還と慰謝料五百万円の支払いを求めた訴訟の判決がこに控訴、あくまで争う構えを
みせている。

のほど神戸地裁電野支部であ訴えによると、山川さんは
り、法務裁判官は原告側の昭和六十二年二月、既と同訓どから、ロッキーと違うとわ
訴えを認め、本物の犬の返還練所に入っていた「ロッキー」だった、という。

法務裁判官は判決で、返さ
れた犬は、子犬のころから育
てた元の飼い主に激しくほえ
たてた▽訓練所では永久歯が
生えそろっていたのに返還時
にはこのうち二本がなかった
▽鳥取大農学部部の年齢鑑定で
は「ロッキー」より約半年、
年長▽特別な理由もないのに
名前を変えられた」として
偽物と認定した。

判決に対し、竹本所長は訓
練所では永久歯は生えそろっ
てなかった。年齢鑑定は絶対
的なものでなく、名前も希望
でレオにしたらと勧めたた
け。法廷でもロッキーと呼ん
だらしっぱを振ったし本物に
間違いないと反論している。



判決で偽物と認定されたシェパード